

活躍人訪問



「一人ひとりが交通安全の意識を持って、安全安心な地域にしてほしい」と話す登柳会長

■会長としての思い
平成24年、本宮地区は交通事故で、平成23年9月1日から交通事故死亡事故ゼロを達成しました。さらにも、交通安全の呼びかけを行います。これからもこの記録がさらに延びる

■会の活動
交通安全意識の高揚と交通安全の向上を図り交通事故を防止するため、関係機関や団体と連携して活動しています。
主な活動として、小中学生や高齢者への交通安全教育や啓蒙活動、各季に実施される交通安全運動期間中のキャンペーン活動などでの交通安全の呼びかけを行います。また、夏祭り、秋祭り、ロードレース大会での交通安全の協力も行っていきます。

■本宮地区交通安全協会 会長 登柳 尚武さん

私の趣味
ドライブが楽しみです。時間をみつけては、ドライブに出かけています。ゴルフも好きですね。元気なうちにできるだけ楽しみたいと思っています。



街頭キャンペーンの活動の様子

本宮市の皆さんを紹介するページ

みんなのひろば

今月の人
高橋 正典さん
TAKAHASHI MASANORI
(本宮字大森)



「友だちや消防団の仲間とお酒を飲むことが楽しみ」と笑う高橋さん。「ビールや焼酎が好きですね。でも次の日に残らないように気をつけています」と話してくれました。

私の随想録

「消防団員として」

本宮市消防団本宮地区隊第一分団の高橋正典と申します。年齢は38歳。本宮市大森に父、母、妻、息子と暮らしています。私が消防団に入団したのは、先輩に誘っていただいたの

がきっかけで、入団した当初は仕事などで災害活動にあまり出動することができませんでしたが、だんだんと火災での消火活動、水害、消防団行事に出るうちに、消防団員として自覚を持ち、誇りを持ち始めました。20代後半まで消防団に入団するきっかけもなく、入団の意志もなかった私ですが、今では第一分団長としての職責を全うさせていただくよう取り組んでいます。

私たち第一分団は、市の中枢であり、基幹分団として本宮旧町内はもちろんです。大玉村の火災まで出動します。基幹分団としての使命感を持って活動しています。そして、千年に一度とも言われる東日本大震災から2年が経過しました。あの未曾有の大震災では、私たちはそれまでに消防団活動として経験したことがなかった除染作業なども行いました。また、いつ来るかわからない、さらにはいつ来てもおかしくないといわれている3・11のような大災害に、対し、これまでの経験を生かし、どんな災害が発生しても、地域の皆さんの安全安心のため、これからは消防団活動に一層励んでいきたいと思っています。

◇◇◇
来月は、山崎由美子さん（糠沢字光が丘）の予定です。

こどものひろば
本宮市立本宮第二保育所
所長 三瓶公子
【児童数】101人
(平成25年3月1日現在)



▲東京家政大学の学生と「葉っぱで遊ぼう」(3歳児)

本宮第二保育所は「明るく元気な子」「自分で考えて行動する子」「友だちと楽しく遊べる子」を保育目標に掲げ、0歳から5歳児(就学前)の子どもたちが元気に毎日を過ごしています。

保育所の機能として、早朝保育を「7時から」遅番・延長保育を「19時まで」お子さんをお預かりしています。また、本市において、はじめて0歳児から就学前まで子どもたちをお預かりする現在の形は、平成15年から第2保育所ではじめました。第1と第3保育所が第2保育所に集まって、土曜日の保育をしています。

今年度は、特に人とのかわ

わりを大切にしてきました。0歳児は、受容的な大人とのかかわりの中で、周りへの興味関心などが芽生える時期で、授乳や離乳食なども喜び心地よい生活ができるよう支援しています。

1・2歳児はイクタンボランティアの方の協力を聞き、本を読んでもらう心地よさを味わっています。

3歳から5歳までのクラスでは、わらべうたや食育講座で地域の方々のお世話になり、カレー作りや食への役割などみんなで楽しく学ぶことができました。これからも、子どもたちの心身の状態で生活リズムを基本に安心して保育所の生活ができるようにな

す。遊びを通じて発達に必要な経験を一人ひとりが自主的に取り組み、友だちとのかわりの中で学び合っています。

現在、放射線量の影響も減り、戸外遊びも十分にできます。

▲食育講座の様子
▼「カレーづくり」活動の様子(5歳児)

ようになりました。地域や保護者の皆さまにこれからも見守りをお願いいたします。

FM Mot.Com 秘情報

あ的心声、私です...

《パーソナリティ紹介》
◆ラジオネーム：じゃんごん
◆本名：赤沼純子
◆出身：福島県
◆趣味：アウトドア全般 ガーデニング

◆担当番組：おもしろヒルミネーション
毎週月・水曜日 午前11時00分～

◆リスナーに一言：お話を伺うのが大好き。リスナーの皆さん、スタジオに遊びに来てくださいね。